

平成24年度

海上保安庁関係  
予算決定概要

平成23年12月

海上保安庁

# 海上保安庁関係予算総括表

(単位：百万円)

主要事項等	23年度 予算額	24年度 要求額	24年度 予算額	対23年度 増減率
	A	B	C	C/A
<b>【物件費】</b>				
<b>1 海上保安庁の執行体制の強化</b>	<b>43,921</b>	<b>50,845</b>	<b>48,081</b>	<b>1.094</b>
・ しきしま級巡視船の整備	7,145	7,976	7,920	1.108
・ 巡視船艇・航空機の整備	22,926	17,690	17,468	0.761
・ 船艇・航空基地施設の整備	1,113	1,029	1,029	0.924
・ 海上警備資器材の充実・強化	556	600	1,960	3.525
・ 巡視船艇・航空機の燃料費	10,619	11,044	12,006	1.130
・ 海洋調査能力の向上	1,073	939	850	0.792
・ 人的資源の充実・強化	489	488	485	0.991
<b>&lt;重点化措置枠&gt;</b>				
・ 海洋調査能力の向上	0	5,400	1,900	-
<b>&lt;復旧・復興枠&gt;</b>	0	5,680	4,464	-
・ 巡視船艇の整備	0	3,480	2,427	-
・ 仙台航空基地の復旧	0	629	629	-
・ 燃料費の確保	0	1,195	1,195	-
・ 救難防災資器材等の整備	0	184	22	-
・ 海洋調査能力の向上	0	191	190	-
<b>2 巡視船艇・航空機の維持費</b>	<b>17,026</b>	<b>17,121</b>	<b>17,035</b>	<b>1.000</b>
<b>3 情報通信関係費</b>	<b>1,186</b>	<b>1,160</b>	<b>1,167</b>	<b>0.983</b>
<b>4 海洋情報関係費</b>	<b>844</b>	<b>784</b>	<b>776</b>	<b>0.919</b>
<b>5 治安・救難・環境保全・ 防災関係費</b>	<b>7,019</b>	<b>7,040</b>	<b>7,024</b>	<b>1.000</b>
<b>6 その他</b>	<b>6,357</b>	<b>5,614</b>	<b>5,532</b>	<b>0.870</b>
<b>非公共 計</b>	<b>76,353</b>	<b>82,565</b>	<b>79,614</b>	<b>1.042</b>
<b>7 安全・安心で効率的な海上 交通の実現（公共事業）</b>	<b>4,474</b>	<b>4,072</b>	<b>4,072</b>	<b>0.910</b>
<b>&lt;復旧・復興枠&gt;</b>				
・ 航路標識の防災対策（公共事業）	0	1,144	285	-
<b>公共事業費 計</b>	<b>4,474</b>	<b>5,216</b>	<b>4,357</b>	<b>0.973</b>
<b>物件費 計</b>	<b>80,827</b>	<b>87,781</b>	<b>83,971</b>	<b>1.038</b>
<b>【人件費】</b>				
<b>人件費</b>	<b>94,605</b>	<b>95,068</b>	<b>93,990</b>	<b>0.993</b>
<b>合 計</b>	<b>175,432</b>	<b>182,850</b>	<b>177,961</b>	<b>1.014</b>

※計数はそれぞれ四捨五入によっている。  
増減率は小数点第4位を切り捨てしている。

**【参考】**  
**平成24年度要求における予算措置状況**

(単位：百万円)

主要事項等	23年度 予算額	24年度 要求額	24年度 予算額	対23年度 増減率
	A	B	C	C/A
<b>【物件費】</b>				
<b>1 海上保安庁の執行体制の強化</b>	<b>43,921</b>	<b>50,845</b>	<b>48,081</b>	<b>1.094</b>
・ しきしま級巡視船の整備	7,145	7,976	7,920	1.108
・ 巡視船艇・航空機の整備	22,926	17,690	17,468	0.761
・ 船艇・航空基地施設の整備	1,113	1,029	1,029	0.924
・ 海上警備資器材の充実・強化	556	600	1,960	3.525
・ 巡視船艇・航空機の燃料費	10,619	11,044	12,006	1.130
・ 海洋調査能力の向上	1,073	939	850	0.792
・ 人的資源の充実・強化	489	488	485	0.991
<b>&lt;重点化措置枠&gt;</b>				
・ 海洋調査能力の向上	0	5,400	1,900	-
<b>&lt;復旧・復興枠&gt;</b>	<b>0</b>	<b>5,680</b>	<b>4,464</b>	<b>-</b>
・ 巡視船艇の整備	0	3,480	2,427	-
・ 仙台航空基地の復旧	0	629	629	-
・ 燃料費の確保	0	1,195	1,195	-
・ 救難防災資器材等の整備	0	184	22	-
・ 海洋調査能力の向上	0	191	190	-
<b>2 巡視船艇・航空機の維持費</b>	<b>17,026</b>	<b>17,121</b>	<b>17,035</b>	<b>1.000</b>
<b>3 情報通信関係費</b>	<b>1,186</b>	<b>1,160</b>	<b>1,167</b>	<b>0.983</b>
<b>4 海洋情報関係費</b>	<b>844</b>	<b>784</b>	<b>776</b>	<b>0.919</b>
<b>5 治安・救難・環境保全・ 防災関係費</b>	<b>7,019</b>	<b>7,040</b>	<b>7,024</b>	<b>1.000</b>
<b>6 その他</b>	<b>6,357</b>	<b>5,614</b>	<b>5,532</b>	<b>0.870</b>
<b>非公共 計</b>	<b>76,353</b>	<b>82,565</b>	<b>79,614</b>	<b>1.042</b>
<b>7 安全・安心で効率的な海上 交通の実現（公共事業）</b>	<b>4,474</b>	<b>4,072</b>	<b>4,072</b>	<b>0.910</b>
<b>&lt;復旧・復興枠&gt;</b>				
・ 航路標識の防災対策（公共事業）	0	1,144	285	-
<b>公共事業費 計</b>	<b>4,474</b>	<b>5,216</b>	<b>4,357</b>	<b>0.973</b>
<b>物件費 計</b>	<b>80,827</b>	<b>87,781</b>	<b>83,971</b>	<b>1.038</b>
<b>&lt;4次補正予算&gt;</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3,339</b>	<b>-</b>
・ 大型測量船延命	-	-	1,853	-
・ 大型測量船搭載機器更新	-	-	1,486	-
<b>物件費（4次補正含む） 計</b>	<b>80,827</b>	<b>87,781</b>	<b>87,311</b>	<b>1.080</b>
<b>【人件費】</b>				
<b>人件費</b>	<b>94,605</b>	<b>95,068</b>	<b>93,990</b>	<b>0.993</b>
<b>合 計</b>	<b>175,432</b>	<b>182,850</b>	<b>181,300</b>	<b>1.033</b>

※計数はそれぞれ四捨五入によっている。  
 増減率は小数点第4位を切り捨てしている。

## 主な事項 (( )内は23年度当初予算額)

### 1. 海上保安庁の執行体制の強化

48,081(43,921)百万円

#### (1) しきしま級巡視船の整備

7,920(7,145)百万円

被害制御・長期行動能力等を備えたしきしま級巡視船(1隻)及び搭載ヘリコプター(2機)の整備に要する経費。

(継続)

・ヘリコプター搭載型巡視船 1隻 6,345(4,083)百万円

(継続)

・搭載ヘリコプター 2機 1,576(3,061)百万円

#### (2) 巡視船艇・航空機等の整備

災害対応能力、荒天下航行能力、夜間搜索監視能力、制圧能力等を備えた1,000トン型巡視船及び荒天下飛行能力、航続性、夜間搜索監視能力等を備えたヘリコプターの整備に要する経費。

##### ① 巡視船艇の整備

18隻〔継続〕

12,590(17,730)百万円

(継続)

・1,000トン型巡視船 8隻 7,231(5,755)百万円

・350トン型巡視船 3隻 1,531(5,869)百万円

・35メートル型巡視艇(消防型) 6隻 2,421(0)百万円

・ヘリコプター搭載型巡視船 1隻 1,407(0)百万円(※)

※ 延命・機能向上工事。

##### ② 航空機の整備

16機〔新規3機、継続13機〕

7,304(5,196)百万円

(新規)

・ヘリコプター 3機 977(0)百万円

(継続)

・ヘリコプター及び飛行機 13機 6,327(5,196)百万円

③ 船艇・航空基地施設の整備

1, 658 (1, 113) 百万円

船艇・航空機の運用に必要な基地施設の整備に要する経費。

(継続)

・仙台航空基地	629 (0) 百万円
・新潟航空基地	278 (114) 百万円
・石垣航空基地	723 (916) 百万円

(3) 海上警備資器材の充実・強化

1, 960 (556) 百万円

外国漁船の取締り等の業務を安全かつ的確に遂行するため、被疑者の制圧等に従事する職員の受傷を防止する防弾防刃救命衣等の個人装備、被疑船舶を的確に捕捉できる巡視船用監視装置等、必要な資器材の整備に要する経費。

(4) 巡視船艇・航空機の燃料費及び救難資器材の整備

13, 223 (10, 619) 百万円

巡視船艇・航空機の運航に要する燃料費及び潜水作業時間を拡大し、より長時間・広範囲の水中捜索を行うことができる新型の潜水資器材の整備に要する経費。

(5) 海洋権益を保全するための海洋調査等の推進

① 海洋調査能力の向上（重点化措置枠）

1, 900 (0) 百万円

[このほか平成23年度補正前倒し3, 339百万円]

○ 自律型潜水調査機器（AUV）の増強整備

528 (0) 百万円

海底地形等の精密なデータを取得することができる自律型潜水調査機器（AUV）の増強に要する経費。

○ AUV搭載のための大型測量船の改修

1, 372 (0) 百万円

海洋調査の主力である大型測量船「拓洋」について、新たに搭載されるAUVのための設備改修に要する経費。

〔平成23年度補正予算（第4号）（3,339百万円）を含めた海洋調査能力の向上の全体額は5,239百万円であり、平成24年度重点化措置枠の要望事項はすべて措置〕

（平成23年度補正予算（第4号）の内容）

- ・大型測量船「拓洋」の延命 1,853百万円
- ・大型測量船「昭洋」搭載機器の更新 1,486百万円

## ② 海洋調査能力の向上

1,040（1,073）百万円

海底地形、地殻構造等の調査等の推進に要する経費。

## (6) 人的資源の充実・強化

485（489）百万円

高度化・専門化する海上保安業務に的確に対応できる人材を育成するため、英語をはじめとする外国語研修等、業務研修に要する経費。

## 2. 東日本大震災の教訓を踏まえた防災体制の強化

2,728（0）百万円

### (1) 巡視船艇の整備（再掲）

8隻〔継続〕

2,427（0）百万円

（継続）

- ・1,000トン型巡視船 2隻 6（0）百万円
- ・35メートル型巡視艇（消防型） 6隻 2,421（0）百万円

### (2) 救難資器材の整備（再掲）

16（0）百万円

潜水作業時間を拡大し、より長時間・広範囲の水中捜索を行うことができる新型の潜水資器材の整備に要する経費。

### (3) 航路標識の防災対策（公共事業）

285（0）百万円

地震や台風といった自然災害に伴う航路標識の倒壊や消灯等を未然に防止するため、航路標識の耐震補強、航路標識用電源の自立型電源化（太陽電池化）等に要する経費。

### 3. 情報管理の強化

1 1 ( 0 ) 百万円

#### 情報システムのセキュリティ対策の推進

海上保安庁の情報システムのクローズ化等に係る調査に要する経費。

### 4. 安全・安心で効率的な海上交通の実現(公共事業)

4, 3 5 7 ( 4, 4 7 4 ) 百万円

#### (1) 航路標識の防災対策(再掲)

2 8 5 ( 0 ) 百万円

#### (2) 新たな情報技術を活用した海上交通基盤の充実強化等

4, 0 7 2 ( 4, 4 7 4 ) 百万円

海上交通センターの機能拡充等に要する経費。